

# どんぐい村の こみ・すく通信

令和5年7月10日発行

令和5年度 第7号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

## みんなの学校応援団の活動を紹介<その3> 浄化センターで学ぶ、「微生物大好き！」

6月27日、更別小学校4年生が社会科で下水処理をする更別浄化センターを訪れました。

水質を管理している更別企業の森田さんからは、汚水の汚れを食べて水をきれいにしてくれる微生物を顕微鏡で見せてもらいました。この微生物がいなければ水はきれ



顕微鏡をのぞき、微生物を観察

いにならないそうです。顕微鏡でみると、いろいろな微生物があり、それを見

て「かわいい!」「微生物好き!」と反応する子どももいました。

また、浄化センターの管理をしている役場の矢野さんからは、どうやって下水(使った後の汚れた水)をきれいに処理していくのかを施設の機械等の紹介もしながら教えてもらいました。



水がきれいに



きれいになった水がここから出て、川に流れていきます。

コップ一杯の牛乳を分解するのに、お風呂20杯分の水が必要、油の分解も大変だと聞いた。牛乳は残さずちゃんと飲まなくちゃ。

学校運営協議会・CS委員会の委員の皆様  
第2回学校運営協議会、CS委員会開催日  
8月30日(水)に変更しました。  
案内は後日発送します。

## 子どもたちは地域でたくさんの かけがえのないものを学ぶ

更別中央中2年生の職業体験受け入れをお願いする時期がきました。今年は9月6日、7日に実施し、村内28か所の事業所が受け入れてくださいます。今回、9月末に開催される中央中文化祭で生徒が職業体験の発表をするそうです。

村での職業体験を通して何を学んだのかを発表する機会は、2年生の子どもたちにとって貴重な機会になると思います。

この職業体験は、働く大人から、「働くとは」どういうことなのかを学び、将来につながる職業観を養うものです。毎年、受け入



4年度職業体験 エア・ウォーター様

れ事業所は、お忙しい中、中学生のためにいろいろな体験を用意、また、指導して下さいます。地域の大人の方々から、学校では学べない「かけがえのないもの」を学ばせていただくのです。

一昨年度、職業体験を受け入れた事業所の方から中学生へ送られたメッセージの一部を紹介します。含蓄のある言葉です。

- ・「はたらく」ことは必ず誰かの役に立っています。
- ・働く目的は①生きていくため。労働し、その対価で自分や家族を守るため。②どんな職種でも、きれいごとではなく誰かの笑顔と感謝を励みに働いていると思います。
- ・実習の経験のひとつとして物事の表だけでなく多方面に目を向けられるようになってくれたらうれしいです。



4年度職業体験 お食事処 あさひ様

・仕事に楽な仕事はありません。仕事を長く続けるためには自分にあっている仕事に就くことです。自分の可能性をしっかりと見つけてください。

今回は職業体験のことを話題にしましたが、村の子どもたちのことを思い、学校を支援してくださっている大人の方がたくさんいます。感謝!